

報道関係者各位

今後 CISO に求められるのは IQ より EQ (感情指数) エフセキュアが CISO を対象とした調査レポートを発表

～ 2020 年の様々な変革を経て、CISO に求められる資質が変化 ～

2021 年 2 月 18 日
エフセキュア株式会社

先進的サイバー・セキュリティ・テクノロジーのプロバイダーである F-Secure (本社: フィンランド・ヘルシンキ、CEO: Juhani Hintikka、日本法人: 東京都港区、以下、エフセキュア) は、同社が 2020 年 7 月～9 月にかけて欧米の CISO (最高情報セキュリティ担当者) 28 名を対象に実施した CISO の役割および意識に関する調査をまとめたレポートの第 1 弾を発行しました。

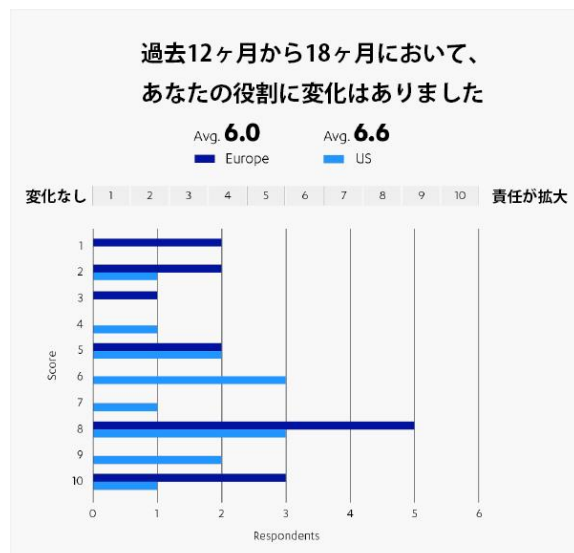
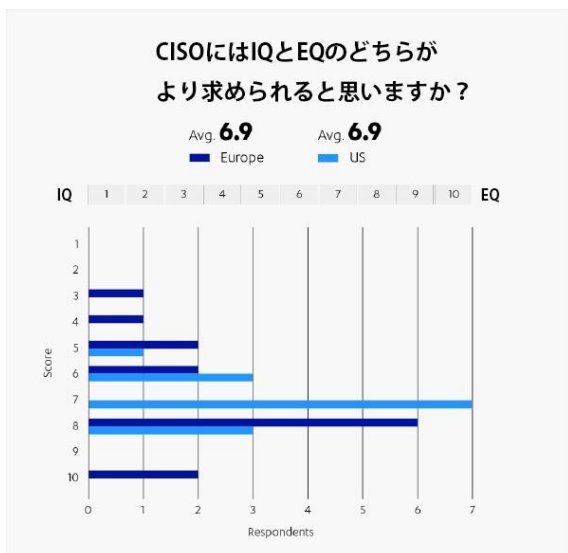
従来、CISO には技術的な役割が優先して求められ、それ以外のスキルは二の次として扱われてきました。しかし、今回の調査のために欧米各国 CISO への綿密な取材を実施した結果、この発想は急速に時代遅れなものになりつつあることがわかりました。

調査に対する回答者 1 人である、米国の電力・公益事業持ち株会社である AES Corporation で CISO 兼バイスプレジデントを務める Scott Goodhart (スコット・グッドハート) 氏は次のように話しています。

「企業にとって、サイバーセキュリティのリスクに関連する技術的な側面は、他のビジネスリスクと同様に扱われ始めています。一旦攻撃を受ければダウンタイムや恐喝、知的財産の盗難などで数千ドル、数十万ドルの損害を被る可能性があり、それを単なる IT やサイバーセキュリティの問題としてだけ扱うのは意味がありません。技術のみが売りの CISO は過去のものとなり、企業にとってより広範で包括的な方法でリスクに対処する上で、頼られる存在となっているのです。」

取材に応じた CISO の 3 分の 2 は、社内外の様々な人々について理解し、共感し、交渉する上で、IQ (知能指数) よりも EQ (感情指数) が果たす役割がますます重要になっていると考えています。

また、回答を寄せた CISO の 4 分の 3 は、純粋にネットワーク上のリスクに焦点を当てていたそれまでの役割から、現在導入しているテクノロジーのあらゆる要素をカバーする役割へと変化したと回答していますが、その変化はヘルスケア、製造業、小売業における CISO に最も顕著に現れています。

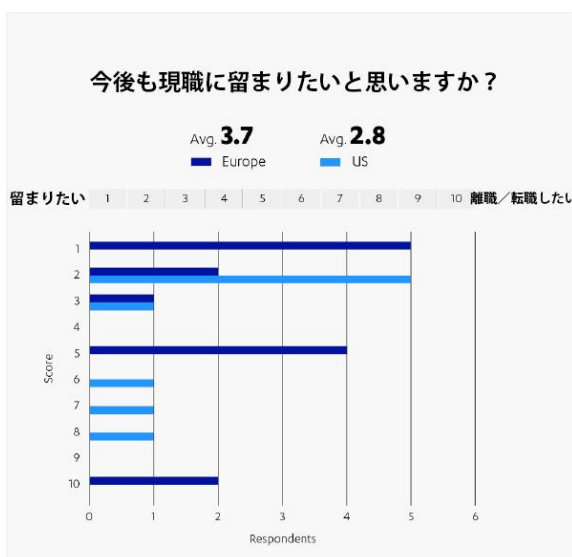
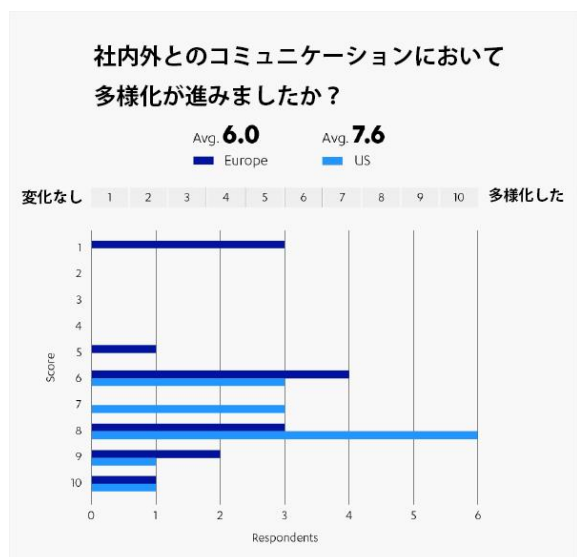


エフセキュアの MDR (マネージドによる検知と対応サービス) 部門担当エグゼクティブバイスプレジデントである Tim Orchard (ティム・オーチャード) は CISO に求められる役割の変化について、以下のように語っています。

「現在、CISO は様々な課題を理解しリスクを軽減し、その情報が技術的なものであるかどうかに関わらず、取締役会、従業員、外部のセキュリティの専門家、規制当局、さらには法執行機関まで、全ての人々に伝えることが求められています。『ソフト』スキルに頼ることへのシフトは数年前から始まっています。しかし、新型コロナウイルスのパンデミックにより、企業内外の人々と積極的に連携することで CISO がいかに企業のリーダーとなり得るかが明らかになったのです。」

調査レポートからの抜粋:

- 取材を受けた CISO の 3 分の 2 は、他社の CISO との意見交換会など、外部のコミュニティとの交流にかなりの時間を費やしていた。
- 回答を寄せた CISO の半数以上が、規制やプライバシーにより CISO の責任が重くなっていると感じている。
- 取材対象の CISO の 65% が、自身の役割が自社のビジネスにとって重要であると考えています。
- ほとんどの CISO は取材時には自分のポジションの今後に安心感を抱いていたが、3 分の 1 以上の CISO は離職や転職を考えている。



調査レポート『CISO の新たな夜明け』は、欧米の CISO 28 名への綿密なインタビューをもとに作成しています。第一章は以下のページからダウンロードいただけます。

https://blog.f-secure.com/ja/cisos_new_dawn

エフセキュア プレスリリースページ:

<https://www.f-secure.com/jp-ja/press/p/20210218-ciso-report-ch1-jp>

エフセキュアについて

エフセキュアほど現実世界のサイバー脅威についての知見を持つ企業は市場に存在しません。数百名にのぼる業界で最も優れたセキュリティコンサルタント、何百万台ものデバイスに搭載された数多くの受賞歴を誇るソフトウェア、進化し続ける革新的なセキュリティ対策に関する AI テクノロジー、そして「検知と対応」。これらの橋渡しをするのがエフセキュアです。当社は、大手銀行機関、航空会社、そして世界中の多くのエンタープライズから、「世界で最も強力な脅威に打ち勝つ」という私たちのコミットメントに対する信頼を勝ち取っています。グローバルなトップクラスのチ



チャネルパートナー、200社以上のサービスプロバイダーにより構成されるネットワークと共にエンタープライズクラスのサイバーセキュリティを提供すること、それがエフセキュアの使命です。
エフセキュアは本社をフィンランド・ヘルシンキに、日本法人であるエフセキュア株式会社を東京都港区に置いています。また、NASDAQヘルシンキに上場しています。詳細は <https://www.f-secure.com/en/welcome> (英語) および https://www.f-secure.com/ja_JP/ (日本語) をご覧ください。また、Twitter @FSECUREBLOG でも情報の配信をおこなっています。

※以下、メディア関係者限定の特記情報です。個人のSNS等での情報公開はご遠慮ください。

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

エフセキュア株式会社

広報部 秦 和哉

TEL: 03-4578-7745 (直通) japan-pr@f-secure.com